



津波被害(双葉広域消防提供・平成23年3月)

震災による打撃

福島県双葉郡広野町は、いわき市の北隣にあり、町役場は、東京電力福島第一原子力発電所(福島第一原発)から約25キロメートル南に位置しています。

「東北に春を告げるまち」が本当の春を迎える日

ひろのまち 福島県双葉郡広野町

その後、同年9月30日に緊急時避難準備区域が解除され、役場機能や町民の帰還準備が行われた結果、翌年の平成24年3月1日には、いわき市常磐地区で業務を行っていた役場機能を本来の庁舎に戻し、同月31日には、

復旧、そして復興



町外の一次避難所(平成23年4月)

広野町は、東日本大震災(震災)による津波被害を受けました。そして、地震、津波に引き続いて発生した福島第一原発の事故が、大きな打撃を与えました。震災発災の2日後、平成23年3月13日に、町長から全町民に対して、町外への避難指示が出され、町ぐるみで避難しました。

東日本大震災から5年、復興へのあゆみ

— 東北・関東地方に未曾有の被害をもたらした 東日本大震災の発生から、5年が経とうとしている —



災害公営住宅「広野原団地」(平成27年8月)

校が町内で再開しました。時が経ち、既に震災後5年になろうとしています。未だ町民の半数近くが町外居住しています。それでも、平成26年10月から双葉郡初の災害公営住宅「広野原団地」の入居が始まり、平成27年4月から広野町初の高校「ふたば未来学園高等学校」が開校し、災害廃棄物等仮設減容化処理施設が稼働しました。今年



町に戻って初めての小学校運動会(平成25年5月)

町長が1年以上継続していた避難指示を解除しました。同年8月の2学期始業式から小・中学



双葉郡広野町

本当の春を...

春には公設商業施設「ひろのてらす」と広野駅東口のオフィスビル「広野みらいオフィス」の開所を控えていて、復興のつち音が確実に聞こえてきています。

広野町のキャッチコピーは、「東北に春を告げるまち」です。復興を成し遂げ、本当の春を迎えるまでには長い年月を要することになりますが、広野町の復興が双葉郡さらには福島県の復興につながることを信じて、約80人の広野町職員と、清須市をはじめ全国から集まった約30人の派遣職員が、一体となって懸命に働いています。

問合せ 福島県双葉郡広野町 総務課秘書広報係 ☎0240・27・2111

東日本大震災から5年、復興へのあゆみ

市役所 ☎052-400-2911

2016.3.1 清須

荒々しくも美しい姿を楽しめる、自然豊かなまちです。食の分野では、皇室献上海苔や大ぶりの牡蠣、魚介類など豊富な海産物をいつでも堪能できるのが自慢。また、気さくな住民が多く、特に旅行などで遠くから来た方と話し込む姿も見受けられるような、地域の人々とふれ合えるまちでもあります。



美しい「嵯峨渓」

宮城県東松島市は、南を太平洋に面し、特別名勝「松島」の一角を占め、日本三大溪のひとつ「嵯峨渓」などのリアス式海岸の

あの日を忘れず ともに未来へ 「東松島一心」

ひがしまつしま し
宮城県東松島市

震災の被害

東松島市は、東日本大震災により、震度6強の激しい揺れと最大高さ10・35mの津波に襲われ、死者・行方不明者あわせて1,134人(震災関連死亡含む)もの人命が失われました。家屋被害は、全壊・大規模半壊・半壊合わせて1万1,074戸と、全世帯の74%にもなりました。また、震災前は約4万3,000人の住民がいましたが、平成28年1月1日現在では約4万人にまで減少しています。

現在の取り組み

現在、被災者向けの市営住宅16団地の整備や防災集団移転7



東松島市で堪能できる牡蠣

東日本大震災の発生から、5年が経とうとしています。甚大な被害を受けた人・まちは、今、復興に向けてその歩みを進めています。

清須市は、少しでも復興の助けになれるよう人的支援として、福島県双葉郡広野町と宮城県東松島市へ現在も職員を派遣しています。

被災から5年が経ち、復興へ向け力強く踏み出している広野町と東松島市の被災から現在に至るまでの様子をお伝えします。



新たな町なみが見えてきたあおい地区

の声を十分に聴き、できる限り早い完成を目指しています。また、仮設住宅から市営住宅や各移転団地へ移る住民が多くなり、コミュニティの空洞化や孤立などの問題に対して、地域や市社会福祉協議会、各種団体などと連携して『市民協働のまちづくり』を進めているところ



野蒜北部丘陵団地の造成

団地の整備、避難道路・避難施設・防災公園の整備など、地域

温かい支援と復興

震災から、3月11日で5年を迎えます。東松島市民は、あの震災を忘れることはありません。かけがえのないものを失い、それでも必死に頑張ることができたのは、つらい時・苦しい時に日本各地・世界各国の方々から受けた温かい支援があったからです。

清須市の皆さんからは、多大な物資や温かい励ましなどを受けただけでなく、今も清須市職員の方に派遣職員として東松島市で働いていただいています。今後とも、東松島市の復興を見守っていただくとともに、ぜひ東松島市へ足を運んでいただき、東松島の魅力を感じていただければ幸いです。

■問合せ 宮城県東松島市総務部総務課秘書広報班
☎0225・82・1111

